

2023.03.15

学習・生活実態調査（令和4年度）

集計結果と分析（国際教養学部・教育学部）



1. アンケートの実施

令和4年度学習・生活実態調査を令和5年1月下旬から2月中旬にかけて在籍者579人に対してGoogle FormsによるWeb調査を行った。その結果を報告する。回答数は302人（回収率52.2%）であった。

実施時期	令和5年1月27日から2月18日						
対象者 (人)		1年生	2年生	3年生	4年生	合計（回収率）	
	国際教養学部	97	89	99	95	380	579
教育学部	54	56	40	49	199		
回答者 (人)	国際教養学部	58	34	54	53	199 (52.4%)	302 (52.2%)
	教育学部	32	32	21	18	103 (51.8%)	

2. アンケートの内容

学生に対する学習・生活実態調査として、住まい・通学方法、アルバイト時間、授業外学修時間、アクティブ・ラーニングの効果、ふだんの時間の過ごし方、進路（就職、大学院進学等を含む）に向けた準備・活動、研究環境、進路支援の体制などの満足度などについて調査した。また、2021年度のアンケートから、⑤アクティブ・ラーニングに関する質問、⑫研究環境についての満足度の質問、⑯経済的支援の質問、⑰心身の健康相談体制の質問を新たに追加して実施している。

3. アンケートの集計と分析

3.1 「①～② 住まいと通学方法」についての集計と分析

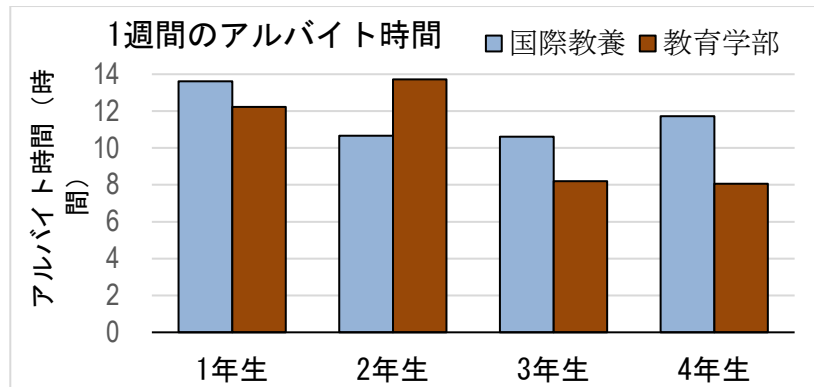
住まい	① 現在のあなたのお住まいについて、あてはまるもの1つをお選びください。 【選択肢】一人暮らしアパートなど、自宅、食事付きアパート、大学寮																					
通学方法	② 大学への通学方法について、あてはまるもの1つをお選びください。 【選択肢】徒歩、バス、電車、自動車、バイク																					
① 住まい 回答者302人中61%（183人）の学生は、自宅に住んでいる。昨年度（2021年度）の65%と同程度の値となっている。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>自宅</td> <td>183</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一人暮らし</td> <td>92</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食事つき</td> <td>22</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大学の寮</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	自宅	183		一人暮らし	92		食事つき	22		大学の寮	5		その他	0							
自宅	183																					
一人暮らし	92																					
食事つき	22																					
大学の寮	5																					
その他	0																					
② 通学方法 49%（148人）の学生が、自家用車で通学している。徒歩・自転車・バイクでの通学生は、16%（50人）になっている。一方、電車・バスの公共交通機関の利用者は34%（104人）になっている。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>自家用車</td> <td>148</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バス</td> <td>63</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電車</td> <td>41</td> <td></td> </tr> <tr> <td>徒歩</td> <td>26</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バイク</td> <td>17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自転車</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スクールバス</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	自家用車	148		バス	63		電車	41		徒歩	26		バイク	17		自転車	7		スクールバス	0	
自家用車	148																					
バス	63																					
電車	41																					
徒歩	26																					
バイク	17																					
自転車	7																					
スクールバス	0																					

3.2 「③ 1週間のアルバイト時間」についての集計と分析

アルバイト	③ 1週間あたりのアルバイト時間を入力してください（整数）。していない場合は、0を入力してください。
--------------	--

75%の学生がアルバイトに従事しており、昨年度（2021年度）の73%と同程度であるが、2020年度の64%に比べてアルバイト従事者数が増加している。1週間のアルバイト平均時間は11.5時間/週であり、昨年度の9.8時間/週よりも長くなっている。

時間	国際教養学部	教育学部
1年生	13.6	12.2
2年生	10.7	13.7
3年生	10.6	8.2
4年生	11.7	8.1
学部平均	11.7	10.5
全学平均	11.5時間	

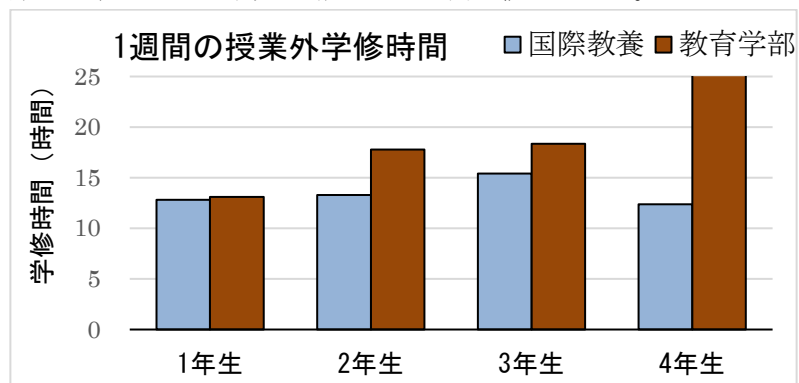


3.3 「④ 1週間の授業外学修時間」の集計と分析

授業外学修時間	④1週間の授業外学修時間合計を教えてください。平均的な数字を入力してください
----------------	--

1週間の授業外学修時間は、全学平均で14.9時間となり、2017年度（10.7時間）、2018年度（11.7時間）、2019年度（12.8時間）、2020年度（14.4時間）よりも長くなり、2021年度（15.0時間）と同程度になった。学部別では、国際教養学部は13.5時間（2021年度11.4時間）、教育学部で18.7時間（2021年度20.0時間）であった。教育学部の4年生で20時間を大幅に超える高い値になった。

時間	国際教養学部	教育学部
1年生	12.8	13.1
2年生	13.3	17.8
3年生	15.4	18.4
4年生	12.4	25.5
学部平均	13.5	18.7
全学平均	14.9時間	



アクティブ・ラーニング	⑤本学で多用しているアクティブ・ラーニング（グループワーク、プレゼンテーション、リポート、実習など）について、当てはまると思われることをお答え下さい【複数回答可】。
--------------------	--

アクティブ・ラーニングの効果として、学生は「友人と相談しながら学習できる」、「他人の意見が参考になる」を上げており、全体の70%（=(236+208)/633）を占めている。

友人と相談しながら学習ができる。	236	<div style="width: 236px; height: 10px; background-color: #4a86e8;"></div>
他人の意見が参考になる。	208	<div style="width: 208px; height: 10px; background-color: #4a86e8;"></div>
英語会話の学習には効果的である。	88	<div style="width: 88px; height: 10px; background-color: #4a86e8;"></div>
教員によってやり方が異なるので、混乱する	54	<div style="width: 54px; height: 10px; background-color: #4a86e8;"></div>
グループワークのグループ分けに問題を感じる。	47	<div style="width: 47px; height: 10px; background-color: #4a86e8;"></div>
個人学習よりも学習内容が浅くなる。	32	<div style="width: 32px; height: 10px; background-color: #4a86e8;"></div>

3.4 「⑥～⑩ふだんの時間の過ごし方について」の集計と分析

ふだんの時間の過ごし方	ふだんの時間の過ごし方について、次の項目は1週間（月曜日～日曜日）で何時間くらいになりますか。今学期の平均的な1週間を振り返って、それぞれについてあてはまるもの1つをお選びください。 【選択肢】0時間、1時間未満、1～2時間台、3～5時間台、6～10時間台、11～15時間台、16～20時間台、21時間台以上
	⑥ 大学の授業などへの出席
	⑦ 友だちづきあい
	⑧ サークルや部活動
	⑨ 社会活動（ボランティア、NPO活動などを含む）
	⑩ その他（読書・テレビ・インターネットなど）

⑥ 大学の授業などへの出席 「大学の授業などへの出席」は幅広い分布になっている。53%（161人）の学生が6時間/週以上、大学に出席しているが、28%（86人）の学生の出席時間は5時間/週以下になっている。	0時間	1	
	1時間未満	1	
	1～2時間台	16	
	3～5時間台	68	
	6～10時間台	43	
	11～15時間台	69	
	16～20時間台	49	
	21時間台以上	55	
⑦ 友だちづきあい 「友だちづきあい」の時間は、3～5時間で最も高くなった。昨年度（2021年度）はコロナ禍で0時間の割合が47%と高くなっていたが、今年度（2022年度）は1.3%に大幅に減少した。	0時間	4	
	1時間未満	34	
	1～2時間台	56	
	3～5時間台	80	
	6～10時間台	53	
	11～15時間台	31	
	16～20時間台	20	
	21時間台以上	24	
⑧ サークルや部活動 77%（233人）の学生がサークル・部活動に参加していない。この値は、一昨年度（2020年度）の80%に近い値である。コロナ禍がサークルや部活動へ影響を与えている。	0時間	233	
	1時間未満	25	
	1～2時間台	18	
	3～5時間台	13	
	6～10時間台	7	
	11～15時間台	4	
	16～20時間台	0	
	21時間台以上	2	
⑨ 社会活動（ボランティア、NPO活動などを含む） 社会活動（ボランティア、NPO活動などを含む）に参加していない学生の割合も高くなっている（208人、69%）。	0時間	208	
	1時間未満	44	
	1～2時間台	17	
	3～5時間台	18	
	6～10時間台	8	
	11～15時間台	3	
	16～20時間台	0	
	21時間台以上	4	

⑩ その他（読書・テレビ・インターネットなど） その他（読書・テレビ・インターネットなど）の時間は、広い分布があり、3～5時間が最も多くなっている。	0時間	4	
	1時間未満	19	
	1～2時間台	51	
	3～5時間台	60	
	6～10時間台	48	
	11～15時間台	42	
	16～20時間台	27	
	21時間台以上	51	

3.5 「⑩～⑬ 大学卒業後の進路等への準備」のアンケートの集計と分析

大学卒業後の進路への準備について	⑩ 大学卒業後の進路（就職、大学院進学等を含む）に向けた準備・活動をいつ頃から始めようと考えていますか？または、始めましたか？ 【選択肢】大学1年生の頃、大学2年生の頃、大学3年生の前期、大学3年生の夏休み、大学3年生の後期、大学4年生の前期、大学4年生の夏休み以降、わからない。就職するつもりがない
-------------------------	---

「進路に向けた準備・活動時期」は、70%（213人）の学生が、「2年生」から「3年生の後期」から活動を始めたい（または始めた）と答えている。

大学1年生の頃	32	
大学2年生の頃	64	
大学3年生の前期	64	
大学3年生の夏休み	48	
大学3年生の後期	36	
大学4年生の前期	14	
大学4年生の夏休み以降	5	
わからない	29	
就職するつもりがない	0	

3.6 「⑫～⑱ 本学についての満足度」の集計と分析

本学についての満足度	本学について、どのくらい満足していますか。それぞれについて、あてはまるもの1つをお選びください。 【選択肢】とても満足している、まあ満足している、どちらでもない、あまり満足していない、全く満足していない
	⑫ 研究環境（図書館、学習スペース、教員のサポートなど）についての満足度
	⑬ 進路支援の体制（教員採用試験対策、就職セミナーやガイダンスなど）
	⑭ 教員（専門性の高さやよい影響を受けるなど）
	⑮ 授業・教育システム（教育内容やカリキュラム、ゼミ（教科、教職、卒論等）など）
	⑯ 経済的支援
	⑰ 心身の健康相談体制
	⑱ 友人関係
	⑲ 大学生活を総合的に判断して

本学についての満足度を⑫～⑱の8項目で評価した。

好意的な評価（「とても満足している」「まあ満足している」）は、「⑱友人関係」において、80%（142+99人）と最も高い割合となった。次に、「⑫研究環境（図書館、学習スペース、教員のサポートなど）についての満足度」が、76%（97+132人）となった。また、「⑭教員（専門性の高さやよい影響を受けるなど）」は66%（83+117人）となっている。

「⑬進路支援の体制」65%（103+93 人）、「⑮授業・教育システム（教育内容やカリキュラム、ゼミ（教科、教職、卒論等）など）」63%（78+111 人）では、学生の好意的な評価が70%以下になっている。

なかでも、「⑰心身の健康相談体制の満足度」51%（73+82 人）、「⑩経済的支援についての満足度」44%（55+78 人）は、60%以下の低い値となっている。

「⑲大学生活を総合的に判断しての満足度」については、69%（=（81+126）/302）が好意的な評価となり、昨年度(2021)の75%よりも低下した。

【 】内の数値は、「とても満足している」「まあ満足している」の占める割合を示す。

研究環境（図書館、学習スペース、教員のサポートなど）についての満足度【76%】	とても満足している	97	
	まあ満足している	132	
	どちらでもない	44	
	あまり満足していない	19	
	全く満足していない	7	
	判断できない	3	
⑫ 進路支援の体制（教員採用試験対策、就職セミナーやガイダンスなど）【65%】	とても満足している	103	
	まあ満足している	93	
	どちらでもない	71	
	あまり満足していない	13	
	全く満足していない	10	
	判断できない	12	
⑬ 教員（専門性の高さやよい影響を受けるなど）【66%】	とても満足している	83	
	まあ満足している	117	
	どちらでもない	75	
	あまり満足していない	19	
	全く満足していない	6	
	判断できない	2	
⑭ 授業・教育システム（教育内容やカリキュラム、ゼミ（教科、教職、卒論等）など）【63%】	とても満足している	78	
	まあ満足している	111	
	どちらでもない	70	
	あまり満足していない	29	
	全く満足していない	11	
	判断できない	3	
⑮ 経済的支援【44%】	とても満足している	55	
	まあ満足している	78	
	どちらでもない	78	
	あまり満足していない	32	
	全く満足していない	36	
	判断できない	23	
⑯ 心身の健康相談体制【51%】	とても満足している	73	
	まあ満足している	82	
	どちらでもない	94	
	あまり満足していない	23	
	全く満足していない	11	
	判断できない	19	
⑰ 友人関係【80%】	とても満足している	142	
	まあ満足している	99	
	どちらでもない	38	
	あまり満足していない	12	
	全く満足していない	4	
	判断できない	7	

⑱ 大学生生活を総合的に判断して 【69%】	とても満足している	81	
	まあ満足している	126	
	どちらでもない	58	
	あまり満足していない	22	
	全く満足していない	9	
	判断できない	6	